



ラウンジQRコード

9月1日は、関東大震災から100年です。そこで今回は、外国人のために行われた防災イベントを3つ取り上げます。
やさしい日本語だけでなく、みんなで協力することの大切さを学びました。

みんなで防災訓練!!!

6月17日(土) 青葉国際交流ラウンジで「外国人のための防災講座」が開かれました。
日本語学習者22名が参加しました。講師は、青葉台消防出張所長の西條祐希さんです。
「やさしい日本語」で話をした経験はありませんが、総務省が作成した「やさしい日本語」で書かれた資料を使って説明。初級の学習者も、大体のことが理解出来たようでした。



地震のとき、気をつけること

【部屋にいるとき】

- 地震のとき、頭を守ってください。
- 机の下に入ってください。
- 地震が止まるまで、その場所にいてください。

防災クイズ

エレベーターに乗っているときに地震が起きたとき、すぐに1階のボタンを押しエレベーターから出る。

×

まず、東日本大震災や阪神淡路大震災の画像を見ました。日本では大きな地震がいつでも起きても不思議ではないという話を、学習者は真剣に聞いていました。次に、部屋にいるとき地震が起きたらどう行動すればいいのか、絵とやさしい日本語で学びました。また、エレベーターに乗っているときに地震が起きたらどうすればいいか、○か×か、クイズで学びました。正解は×。すべての階のボタンを押さなければならないという講師の話に、みんなびっくり。1階まで降りるのではなく、少しでも早く、一番近い階で降りるという説明に、なるほどと、納得していました。そのあとは実習です。毛布と棒2本で担架(人を寝かせて運ぶもの)を作り、新聞紙でスリッパを作りました。みんなで協力しながら取り組んでいました。

参加者の国籍は、フィリピン、インドネシア、メキシコ、ロシア、ベトナム、オーストラリア、中国、インド、ブラジルと、さまざま。講師の西條所長は、最初に講師を引き受けた時、外国人相手にどう伝えたらいいか迷ったそうです。考えたすえに、工夫したのは、資料をゆっくり読んで、実習では、身振り手振りも交えて、みんなで協力することの大切さを伝えたりすることでした。人の役に立ちたいと消防士になった西條所長。熱心な話にひきつけられ、講座は楽しく、ためになるものでした。

横浜市青葉国際交流ラウンジは、横浜市の委託を受けてNPO法人横浜青葉国際交流の会が運営しています。

防災を子育て親子が考えたら



9月14日(木) 都筑区子育て支援センターポポラで、
NPO法人 Sharing Caring Culture (SCC) が防災講座を開きました。



就学前の子ども、特に小さな子どもがいる外国人と日本人の親子向けの「おしゃべり会」の、防災講座でした。
会代表・三坂慶子さんに、活動の内容を聞きました。

進行役は SCC 会員でマレーシア出身のファラ・タジュディンさん。留学経験があるので、日本語と英語を話せます。彼女は自分の経験から、外国人が地震や防災について不安を感じていることが分かりました。参加者は自分自身の防災への備えを「チェックリスト」を使って点検しました。また、ハザードマップを活用し、危険な場所を確認。子どもと避難所まで歩きました。

災害といえば、日本人は地震ですが、アメリカ人は山火事、モンゴル人は極寒、ソロモン諸島人は水害やハリケーンだと思います。講座を通じて、国によって災害経験が違うため、私たち日本人が思う災害と全く違うことが分かりました。

日本での「災害への備え」も日本語だけでは伝わらないこともわかりました。特に、緊急性の高いものは、やさしい日本語だけでは不十分なので、「やさしい日本語と英語」で表記して作ったそうです。これはラウンジの情報提供に対する重要なアドバイスです。「外国人も多様化し、言語の選択肢が大切であること」を考えなくてはならないと気づかされました。

防災サインやマークから気づくこと



5月26日(金) 奈良北団地・日本語教室(サロン・デ・チャルラス主宰)で
高校生グループ対象に防災の勉強会がありました。



会代表の村上直子さんに聞きました。
日本語を学んでいる子どもたちが良く知っているのは、避難所や避難場所など一般的な防災サインや記号です。教室で優先的に教えているからかもしれません。しかし、子どもたちからは、サインや掲示が分かりにくく、目立たないという意見もありました。防災に関する情報は繰り返し伝える必要があると村上さんは指摘しています。

また、異なる国々での防災サインの違いにも触れ、国際的な多様性を考慮する必要があること。さらに、防災教育の一環として、地域全体での協力が重要であり、地域の人々、消防団、災害ボランティアなどが連携して街を守ることに貢献していることを広めるべきだと強調していました。

3つの防災イベントを紹介しました。これまで、防災には「やさしい日本語」や、英語など多言語を使った伝達が重要とお伝えしてきましたが、訓練などを通じて、地震が起きた時に何をすればいいのか、体で覚えることも大切です。また、それ以上に、普段から、同じ地域や団地に住む人が、身振り手振りも交えてコミュニケーションを取り、人間関係を築いておくことが何よりも大切だと実感しました。高齢者や外国人、障がいのある人たちが協力して、命を守る社会を目指していきましょう。

部会活動の紹介

事業企画部会

第7回 国際交流イベント

『和菓子で美味しい ジュニア国際文化交流』



7月30日(日)「和菓子で美味しいジュニア国際文化交流」を開催しました。

バングラデッシュのお友達3人、日本のお友達17人で夏らしいひまわりと朝顔、2種類の練り切りを作りました。

やさしい英語でレクチャー No.29 Lecture in plain English



9月17日(日)、男女共同参画センター横浜北館長 白藤香織さんが、『*アンコンシャス・バイアスとジェンダー』についてやさしい英語で講演しました。



クイズ等と交え、無意識の思い込みに気付かされる内容で、参加者の皆さんは興味深く聴き入っていました。

※無意識の思い込みや性別による固定的な役割分担意識のこと

海外事情講演会 2023 『特派員が見た素顔のフィリピン』

6月17日(土) 2000年から4年間、フィリピンで共同通信社の特派員として活動した桑原正樹さんが、フィリピンの実像について講演しました。

フィリピンの地理、歴史、政治的背景に触れ、英語を公用語として使用し、コールセンター業などで急成長しているフィリピンの現状を聴きました。日本がグローバルな時代において直面する課題について考える機会となったのではないかと思います。



情報広報部会

あおバリュー Radio

外国語放送に協力しています

「FM 84.1 MHz」で聞いてください。
放送時間は、月曜日～金曜日の18時50分から18時55分までです。

やさしい日本語は毎日。その後外国語が続きます。
月曜日は中国語、火曜日は韓国語、水曜日は英語、木曜日はスペイン語、金曜日は、もう一度英語です。



日本語部会

夏の日本語教室 ～うちわ作りで交流～

8月26日(土) 土曜クラス (夏の日本語教室) 最終回は、みんなでうちわ作りを楽しみました。思い思いに、ちぎり絵・絵てがみ・習字・折り紙で、工夫をこらしてオリジナリティあふれるうちわを作りました。きっと楽しい夏の思い出になることでしょう。



手に入れられる場所：地区センター、図書館、ケアプラザ、コミュニティハウス

青葉区内の東急田園都市線の各駅、地下鉄あざみ野駅に置いています。



本から知らない国の人たちに会えます。

ラウンジの本は一人2冊まで2週間借ることができます。

① おばけのかわをむいたら(絵本)

② しりなが おばけ(絵本)

(著) たなか ひかる (株) 文響社

このおばけは何だろ？ ばなのおばけかな～？ 皮をむくと何が出てくるのかなあ？ しりながおばけは、おしりが伸びるよ。いろいろ形を変えて、いろいろなことに使えるようになるよ。2歳～5歳のこども向け。

● ぼうさい(絵本)

(監修) 山村武彦 (株) Gakken

こどもにも大人にも大変役にたつ防災の絵本。災害から身を守るための35のルールを、楽しい絵とやさしい言葉で教えてくれます。

● あらしとわたし(絵本)

(著) ジェイン・ヨーレンとハイジ・E.Y. ステンブル (評論社)

アメリカの自然災害に対するひとびとの過ごし方を書いた絵本。竜巻、吹雪、山火事、台風にあう中で、人々の生活、そして、力強く回復していく姿を表しています。

あおばこくさいこうりゅう ねんど おも よてい 青葉国際交流ラウンジ 2023年度の主な予定

6月	海外事情講演会 — 特派員が見た素顔のフィリピン
7月	子どものためのイベント — 和菓子で美味しいジュニア国際交流
9月	やさしい英語でレクチャー — 性別による無意識の思い込みとは
10月	やさしい英語でレクチャー — 第11回 高橋先生の英会話スキルアップ講座
11月	アフタヌーンティー — 私がトルコで学んだこと
3日	(青葉区民まつり)
19日	日本語スピーチ大会 ※無観客実施。見学者は募集しません
23日	(青葉区民交流センターまつり)
12月	アフタヌーンティー — 青空と草原の国「モンゴル」
1月	(ボランティア募集説明会)
2月	ビブリオ・バトル — 外国人による好きな本の紹介バトル
3月	みんなで国際交流 (タイトル未定)

日本語をならいたい人！

● おとなのための教室 (高校生以上)

日本語教室 会費：300円/月 (どのクラスも)

水曜日クラス	午前9時30分～11時
木曜日クラス	午後6時30分～8時
土曜日クラス	午前9時30分～11時



● 学習補習教室 (無料)

(外国につながる子どものためのクラス)

水曜日 (小学校入学生)	午前9時～11時
	午後3時45分～5時15分
(中学生)	午後6時00分～7時15分

日本語教室に入りたい人は、今は入れるかどうかをラウンジのホームページか、窓口に確認してください。

● 学習者のニーズや要望に沿った日本語学習だけでなく

日本の文化や習慣など生活情報も伝えます。

● 外国につながる子どもたちの日本語学習です。

それぞれの学習支援、学校の宿題のサポートをします。

● 2023年度区民交流センターまつり ●

11月23日(祝・木) 今年は4年ぶりにセンターまつりを開催します。テーマは「田奈から広がる地域の和・世界の和」です。駅前広場では、さまざまな団体が催しを行う予定です。ラウンジでは「国際交流ラウンジの活動」を「やさしい日本語」で紹介いたします。

まつりの時間：午前10時～12時

ラウンジの紹介時間：午前10時15分～11時45分

交流センターまつりをぜひ、楽しんでください。

編集後記

日本は地震の多い国です。大きな地震が起きた時、まず何をすればいいのか。避難した場所で気をつけることは何なのか。経験の少ない外国人には、不安なことばかりです。

今回は、講座や訓練など、3つの例を取り上げました。やさしい日本語を心がけることはもちろんですが、大きな地震が起きたら、みんなで協力して行動しなければなりません。普段から、国籍を問わず、身近な人と声をかけ合い、準備しておきましょう。

● 開館時間 午前9時～午後8時 日曜日・祝日 午前9時～午後5時
= Office hours : Monday thru Friday & Saturday 9 a.m.-8 p.m. Sundays & Holidays 9 a.m.-5 p.m.

● 休館日 毎月第4日曜日および年末年始 = Closed on the 4th Sunday of every month & New Year holidays